

第2回環境基本計画策定部会 会議要旨

日 時：平成31年2月1日（金）18時～19時55分

場 所：大阪市役所本庁舎 P1階会議室

議 題：（1）「新たな環境基本計画策定に向けた大阪の将来ビジョン、政策アイデア」募集結果について
（2）作文コンクールの結果と優秀作品の選考方法について
（3）「大阪市環境基本計画」素案について

出席者：（委員）下田部会長、藤田委員、岡委員、原委員、大石委員

（事務局等）北辻環境局長、青野理事兼エネルギー政策室長、池上環境施策部長、
岡本環境施策課長 他

配付資料：次第

環境基本計画策定部会委員名簿

資料1-1 「新たな環境基本計画策定に向けた大阪の将来ビジョン、政策アイデア」
募集結果について

資料1-2 ご意見の概要と素案への反映状況

資料2-1 作文コンクールの結果と優秀作品の選考方法について

資料2-2 作文で寄せられた主な取組みと素案への反映状況

資料2-3 作文コンクールの優秀作品候補

資料3 大阪市環境基本計画 素案

参考資料1 環境基本計画改定スケジュール

参考資料2 第1回環境基本計画策定部会 会議要旨

参考資料3 第35回環境審議会 議事要旨

参考資料4 大阪市環境審議会規則

【事務局説明】

事務局より将来ビジョン・政策アイデア募集結果と作文コンクールの結果について報告、環境基本計画の素案について説明

・委員意見

- 30・10運動やフードドライブ、生ごみの3きり運動やリープフロッグなど用語の説明が必要と考える。
- 第1章の「計画策定の背景・意義」の部分やSDGsへの貢献についてもドラステックな仕掛けを具体のところに書いた方が良いのでは。
- SDGsのめざす経済・社会・環境の課題を同時解決について、環境省の環境基本計画は環境・経済・社会の順となっている。これは大阪市の特徴で順序が変わっているのか。
- 計画の体系図に「大阪港港湾計画」がない。「大阪港港湾計画」では、物流・交流・環境・安

全となっている。できるだけ網羅的に、全部書く必要はないが（スペースの問題もあるが）入れられるものは入れた方が良いのでは。

- 基本的な視点ということで上げている5つの基本的な視点と、SDGsを活かした戦略のつながりが、説明がないので若干わかりにくい。3つの柱そのものがゴールになっていて、戦略を使って3つの柱を導くことが内勢されているはず。3つのゴールを導くための戦略が5つあるが、ゴールと戦略を組み合わせて効果をめざすとなると読み手が入りづらいと思う。本質がこの3つの柱というものをめざすうえで、戦略というのがある。戦略をいろいろやっていった結果として副次的にこういう効果もめざす。とした方が論理的にわかりやすいのではないと思うが、図式で非常に単純化されていることで、論理的に考えると混乱すると思うので、整理が必要なのでは。
- 図が全体的にみにくい。特にSDGs。
- 解説のページがあってもいいのでは。
- 環境基本計画とは、大阪市としての環境施策の進め方について書かれており、今回はSDGsという道具を使って横串を通す、ということだと思う。
- 将来世代の視点から、今何をすべきかを考えると、横串を通した方が良い、施策を統合した方が、戦略的、効果的だという結論になることがある。
- 今回の計画に直結するかは分からないが、環境計画や持続可能な発展等を政策で考えるうえで、この考え方は重要になってくる。
- 将来世代として今の施策の最適化を考える際には、今の施策の延長で考えなくてもよい。基本計画の中に未来世代というキーワードがあるので、今後、政策としてそこを膨らませていただきたい。
- SDGsという俯瞰的な枠組みを構築するという意味では、「サステナビリティ・マネージャー」という全体を包括的に企画できる仕組みが必要。
- 戦略のところ、イノベーションの創出に経済団体との関わりなどを少し明確に書いた方がいいのではないかと。SDGsの貢献についても、多様なステークホルダーとの関係を謳っているので、企業という単体ではなく、経済団体の関わりも書いた方がいいのではないかと。
- 横串をどこで通すのかを考えたときに、地域、産業等、いろいろなレベルで横串を通せることを計画の中で書いてはどうか。
- 地域活動協議会といっても、地域の一割に満たない方が集まり、最も若くて60台といった高齢の方が多い。街ゆく人にも地域活動と呼びこまないかと言っても、なかなかそうならない団体が多い。この世代だけでなく、産学官の観点から、街にでている人たちにどう伝えるかそんな視点が欲しい。
- 地域社会の話で言うと、ごみ等については地域に多面的な役割を担ってもらおうとして、今挙げられている具体的施策は大きいので環境局でやるしかないかもしれないが、施策の中で、地域でできそうなことや活動をまとめていただいて、環境局からSDGs、まわりで地域でできることもあるよと投げかけるのもいいのでは。
- 貢献することがライフスタイルとしてかっこいいというものになる形にしていきたいので、デザインも頑張っていて、かっこいいライフスタイルに結びつくようにしていきたい。
- 「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」は今回の素案に盛り込むのか。
- ごみだけでなく、地域に対して回収するとインセンティブがあるのと同じように、企業も環境貢献している企業を褒めるなど。エコバッグなどが出てくるが、コンビニなどにはさらに協力してほしいと思う。ビニール袋にしてもコンビニが一番多いと思う。そういうところの協力

をしていただいたことに対する何かお返しがあればいい。

- 環境分野で先進的に取り組んでいる企業の集積について、環境・エネルギー分野で優れた環境技術を持つ企業が、大阪・関西に集積しておりと書いてある、その説明が参考の2になっているが、参考の2を見ると、世界の中でSBTについては31社日本にあるうち、13社が関西の企業であるという表現と、隣のRE100については、13社日本にあるうち、2社が関西の企業であるという表現で、これが集積なのかな？ということがやや気になった。正確な表現をご検討いただきたい。